

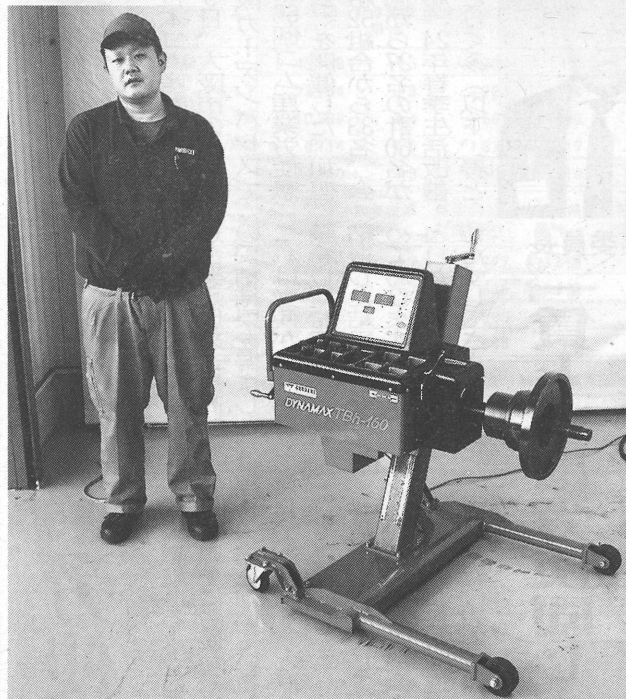
整備機器

新商品

小野谷機工(株)

TB・LT用/PC用
ホイール balancer

「ダイナマックス TBh-160」



コロナ禍以前から、タイヤ整備はロードサービ
スカー(タイヤサービスクー)を活用した出張サ
ービスのニーズが増加傾向をみせていた。新型コ
ロナウイルスによる感染症が拡大すると、ソー
シャルディスタンスをとることが求められるよう
になった。タイヤの交換や整備サービスの現場で
は、ユーザーが来店し対面でビジネスをする従来
の方法よりも、指定する場所へスタッフが赴き、
その場で作業を完了するという、非対面でのスタ
イルを希望するユーザーが劇的に増加。それによ
りロードサービスクーの需要は一層増加した。感
染症の拡大は収まりつつあるが、ビジネススタ
イルの多様化はさらに進む。タイヤの整備サービ
スは場所を選ばないこと、つまり「機動性」がより
重視されるようになった。

ハンドスピンド キヤスタターを採用

小野谷機工(株) (福 井県越前市) はキヤ
スター式のホイールバ
ランサー「DYNAMAX
X(タイヤマックス)
TBh-160」を上
市した。商品開発本部
サービスマスター部
主任の武藤圭朗さん
が解説と実演デモを担
当してくれた。

手動式の「軸上下ハ
ンドル」を左右に回転
させることで、バラ
ンスセンサーの軸を
上下にスライドする。それにより

井ノ口市はキヤ
スター式のホイールバ
ランサー「DYNAMAX
X(タイヤマックス)
TBh-160」を上
市した。商品開発本部
サービスマスター部
主任の武藤圭朗さん
が解説と実演デモを担
当してくれた。

「ダイナマックス

シオン)、乗用車(PC
荷は少ない。

替えることができる。式、PCスチールは手
ワイドな測定レンジが
動。ディスプレイ入力
本機の特徴の一つと
説明する。

では、スピンハンドル

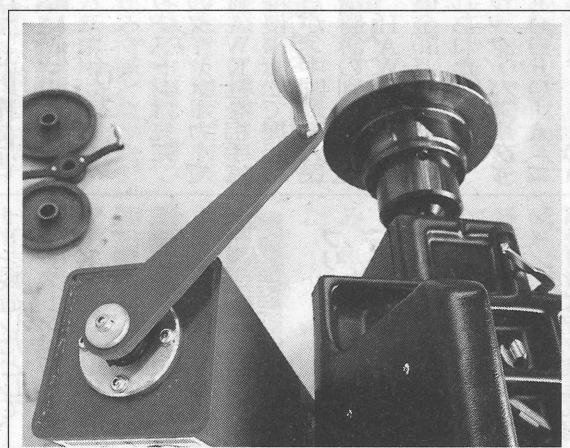
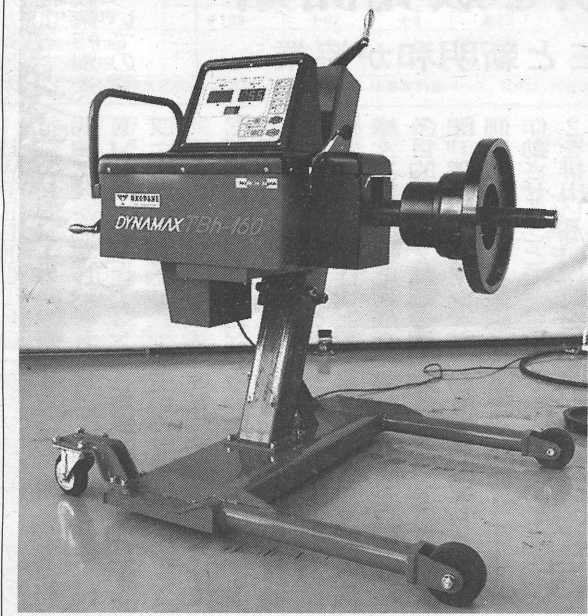
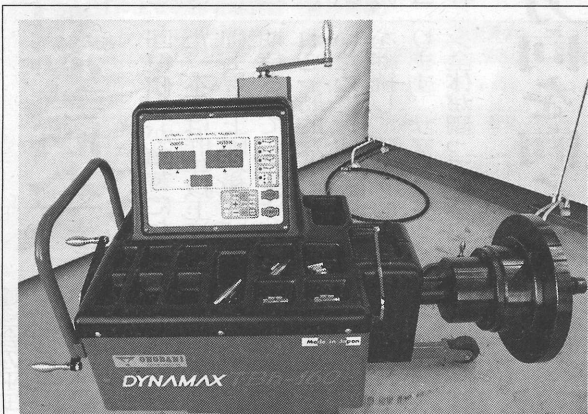
機動性高め場所を選ばず測定

TBh-160」はハ
ンドスピンド(手動回転
式のホイールバランサ
ー)。家庭用単相100
Vの電源でホイールバ

武藤さんは「最大測
定重量は160キロま
で対応。TB・LTモ
ードからPCモードへ
と、ワンタッチで切り

リム径の入力は手
動。リム幅の入力はT
測する。回転速度はT
B・LTは手動、PC
アルミは付属のスケ
ルを使った簡易入力方
m。測定が終わると

ロードサービスクー
に搭載し出張サービ
スのホイールバラン
測定に最適。また、ホ
イールバランサーの入
門機種、2台目・3台
目のサポートマシンと
しての活用も期待でき
る。



自動的にタイヤ回転が
停止するオートブレー
キ機能を搭載した。回
転中に万一、スピンハ
ンドルに接触すること
があっても、ハンドル
のクラッチ機構により
巻き込み防止が図られ
ており、安全にバラ
ンス測定作業を行うこ
とができる」と、武藤さ
んは述べる。

機器本体に4輪キヤ
スターを採用した。と
くに後輪は自在型キヤ
スターを採用。楽に移
動することができ、機
動力を大幅に向上し
た。

「ホイールバランサ
ーとしての基本機能を
装備し、高精度のバラ
ンス測定を可能とし
た。コンパクトな設計
で省スペース化を実現
しながら、機動性をも
たせ、作業性を高めた
という。

(写真上から、本機と
武藤さん モニター画
面の上が「軸上下ハン
ドル」、左が「クラッチ
式スピンドル」
別角度からの本機。右
は別角度からの「軸上
下ハンドル」)